

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	旧三岳山の家管理事業			610109	担当課	生涯学習課	
	開始年度	平成14(2002)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	公共施設マネジメント実施計画		
	施策名	健全育成活動を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	施設の適正な維持管理を行う。						
	対象者	-	対象者数	-	一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 三岳地区自治会(施設周辺草刈)						
	事業概要	施設の活用方法が決定するまで、必要最小限の経費をもって、施設の適正な維持管理を行う。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		光熱水費			185	
役務費		建物共済保険			73			
委託料		施設周辺草刈委託業務			216			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		551	508	444	444	
		補正予算等…②		0	△ 30	0		
		繰越し等…③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		551	463	430	430	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	15	14	14	
		特定財源名称(H29実績)	電柱占用料		15	使用料	12	頁
								頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.19/0	0.16/0	0.16/0	/	
概算人件費…④		1,520	1,280	1,280				
総事業費(①+②+③+④)…⑤			2,071	1,758	1,724			
執行状況	執行額…⑥		521	474				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		94.6%	99.2%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
		単位あたりコスト		0.0	0.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・施設の活用方法が決定するまでの、施設維持管理は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・施設の維持管理に必要最小限のコストで管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	×	・施設の活用方法が決定するまでの施設維持管理事業であり、適切な目標設定が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	×	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	今後の施設活用などについては、地元及び関係部署と協議を行っている。方向性が決定するまでは、必要最小限の維持管理を実施しているが、施設の老朽化が進行する中で民間事業者等の活用方法を探っている。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●H30.1月に「官民連携によるサウンディング型市場調査」の実施を公表し、1社の事業参加者を得て2月に現地説明会、3月にサウンディング(事業者との対話)を行った。 ●実施の結果、直ぐに実行可能な事業者でないことを確認したが、施設・設備の貸付等活用アイデアも含めた提案もあったので、参考意見としてでも良いので追加の対話を続けていきたい。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・一刻も早い処分を(資産活用に) ・これを継続する意義はなく、次の可能性もほとんどない ・除草等のコストも看過できないが、数千万以上を投じて改修 or 除却することも財政的には現実的には許容できないと思料する。譲渡先を探して地道に管理を続けていただきたい。 ・維持管理なのでとくになし(しばらくこの状態が続くのならば、別の事業に含めては) 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 <ul style="list-style-type: none"> ■民間活用を視野にH29年度において「官民連携によるサウンディング型市場調査」を実施したが、具体的な事業提案を受けることはできなかった。 ■普通財産に移行しているため資産活用課と協力し、継続的に官民連携による活用アイデアの収集を進める。 ■平成31年度を期限として、行政主体による維持・管理事業を終了する。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	子ども会育成事業 (610102)			担当課	生涯学習課		
	開始年度	昭和39(1964)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	238	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成活動を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市子ども会指導者連絡協議会を中心として、子ども会指導者としての経験や技量を養い、各地域の子ども会組織の充実と活動の促進を図る。						
	対象者	福知山市子ども会指導者連絡協議会加入の子ども会指導者	対象者数	41	一人当たりコスト	24.63		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	成人指導者研修会(救急救命講習、人権研修会、サマーレクリエーション) 3回/年						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		福知山市子ども会指導者連絡協議会活動負担金			50	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		50	50	0	0	
		補正予算等・・・②		1	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		51	50	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
	特定財源名称 (H29実績)						頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.12/0	0.0/0	/	
概算人件費・・・④		1,440	960	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,491	1,010	0			
執行状況	執行額・・・⑥		51	50				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		子ども会指導者連絡協議会主催事業出席者数	人	47/111	42/111	/	111	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		子ども会指導者連絡協議会主催事業開催回数	回	4/4	3/4	/	4	
		単位あたりコスト		12.8	16.7	/		
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・市子連から脱退する子ども会が増える中で、市全体で実施する必要性は低い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市子連から脱退する子ども会が増える中で、必要最低限のコスト削減を実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、一定の達成をしているものの、実際に各子ども会の活動が充実しているかは不明である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●指導者研修を目標どおり実施できたが、これまでの主体となる活動であった「子ども大会」をH27年度をもって終了したことにより、出席者数は大きく減少した。 ●子ども会の地域指導者や次期リーダーの育成、また子ども会相互の連携を密にすることを目標に事業を進めており、参加する各子ども会運営者の学習機会を支援することができている。 	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●市子連への加入子ども会が減少する中で、今後の市子連の組織や活動について役員会などで協議し、方向性を出す必要がある。 ●平成30年度より、生涯学習一般管理事業へ移行し事業実施する。 ●市子連(福知山市子ども会連絡協議会)への加盟数が減少する中で、市子連の活動方法を再検討する必要がある。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 ■事業としては平成29年度をもって終了した。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	